

山形県高等学校家庭クラブ連盟

山形県高等学校家庭クラブ連盟は、県下高等学校家庭クラブの連絡を緊密にし、その発展並びに趣旨達成を図ることを目的として結成されました。その目的を達成するために、総会、指導者養成講座、研究発表大会を行っています。さらに本連盟には置賜、村山、最北、庄内の四支部が置かれており、支部ごとの活動も行われています。

◆会員

山形県高等学校家庭クラブ連盟に加盟する県内高等学校 17校

男子389名 女子1145名 計1534名

◆平成22年度 事業計画

〈県連主催〉

5月 9日～15日 家庭クラブ週間

6月 7日 第58回山形県高等学校家庭クラブ連盟総会
並びに第48回指導者養成講座

11月 2日 第57回山形県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会
2月 山形県高等学校家庭クラブ連盟機関誌第46号発行
山形県高等学校家庭クラブ連盟会計監査・事務引継ぎ

〈参 加〉

7月26日～27日 第51回全国高等学校家庭クラブ連盟指導者養成講座

8月 5日～ 6日 第58回全国高等学校家庭クラブ連盟総会
並びに研究発表大会

12月 9日～10日 第58回東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟役員会
第57回東北ブロック高等学校家庭クラブ連盟総会
並びに研究発表大会

今年度の県連主催 指導者養成講座の様子



相根 昭典氏による講演
「人と環境にやさしい住まい」



呼吸法ヨーガで
リフレッシュ

第57回山形県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会

《発表一覧》

◎ホームプロジェクトの部

	「パパのためのタジン鍋！」 山形市立商業高等学校 総合ビジネス科2年 光本 きらら 単身赴任中の父はメタボ気味…。それを解消し健康を取り戻すために、今注目のタジン鍋を使った料理を考えました。料理の不得意な父でも栄養のバランスもよく、しかも簡単な料理を研究しました。
	「繋がりの中に生きる(一枚のはがきから…)」 山形県立米沢東高等学校 普通科1年 山王堂 遥 離れて暮らす祖母への暑中見舞をきっかけに失われつつある「物を大切にする心」を見つけました。手作りに込められた人生の諸先輩の「思い」を次の世代に繋いでゆくことの大切さを研究のテーマとして深めてみました。
	「Enjoy! ^{マイ}米 life! ～米を食べて食料自給率を上げよう～」 山形県立山形北高等学校 普通科2年 佐藤 紘菜 現在、日本の食料自給率は諸外国と比べて低いと言われています。そこで私は山形のおいしい米をもっと食べて、食料自給率を上げようと考え、米粉を使った料理にチャレンジしてみました。
	「祖父のためにできること～身近なものの活用～」 山形県立山辺高等学校 福祉科1年 白田 紗己 私の祖父は、突然の事故で現在寝たきりの生活を送っています。元気な祖父が一変して不自由する体となり、苦勞する姿を見て、少しでも快適に楽しく毎日を過ごせるようにとエコも取り入れた物作りを考えました。
最 優 秀 賞	「私を支える夢～吉田屋4代目のパティシエとして～」 山形県立東根工業高等学校 生活クリエイト科2年 吉田 光希 自分の将来の進路選択に悩む私は、家族との関わり、地域の人々とのふれあい、学校生活や家庭科の学習の中で様々な「自分自身」を見つけました。ホームプロジェクト活動を通し、自分が成長していく過程を発表します。

◎学校家庭クラブの部

最 優 秀 賞	「私たちの子育て支援～地域に根ざした子育てサポーターを目指して～」 山形県立東根工業高等学校家庭クラブ 私達の学校のある東根市は、平成20年に「につけい子育て支援大賞」を受賞するなど、子育て支援が活発に行われています。今回の研究は私達高校生にできる子育て支援に挑戦してみることにしました。
------------------	---

	「笑顔あふれる未来を！～地域の人と心をつなぐ食の輪～」 山形県立山辺高等学校家庭クラブ 高齢者対象のレトルト食品や町の特産品を使った食品開発を進め、高齢者を対象としたボランティア活動や子どもたちへの食育活動、農業に携わる方々との交流など、世代を超えて地域との関わりを広げる活動をしました。
--	---

◆平成２２年度 事務局

山形県立天童高等学校